

持続可能な原材料調達連続セミナー（第1回）
2006年5月30日

“食”の原材料と持続可能性

企業の取組事例

地球・人間環境フォーラム

満田 夏花 (みつた・かな)

kanna.mitsuta@nifty.com



外部からの視点の例(NGO)

持続可能な海産物商品におけるスーパーマーケットの評価

	調達方針の有無	漁業の持続性促進のイニシアチブへの支援	持続可能な海産物のラベリング/促進販	最も懸念される魚種の取り扱い	スコア合計 (out of 20)
M社	5	5	4	3	17
W社	5	3	4	3	15
S社	3	4	3	0	10
T社	2	1	1	1	5
A社	0	1	0	0	1

http://www.greenpeace.org.uk/oceans/supermarket/recipe_for_disaster.cfm



外部からの視点の例(NGO)

We're trashin' it!

How McDonald's is eating up the Amazon



Take action and help McDonald's stop trashing the Amazon

Download stuff to help Amazon.org

We're trashing it. Stop McDonald's from eating up the Amazon. (PDF)

Get on the Amazon - the fast lane (PDF)

Check out the day in our lives

See if you can organize against McDonald's and get on a Greenpeace team

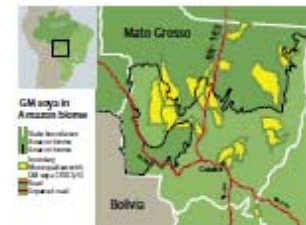
They're McDonald's and you're here

IT/OTW

© April 2006

The Amazon rainforest covers 3% of the world's land and extends over some 7.5 million kilometers. It is one of the most biodiverse regions on earth - at least 30% of the world's land-based animal and plant species live there. The Amazon is also home to about 200,000 people from 200 different indigenous nations who live along its banks and play a vital role in maintaining the world's climate.

Get all this in Greenpeace's latest report: [McDonald's is eating up the Amazon](#)





最近の研究より

「アマゾン流域での牛牧場と大豆産業の拡大が続くと、2050年までに、6つの主要流域と12の生態地域の少なくとも3分の2を含むアマゾン森林の40%が失われ、調査された382種の哺乳類の4分の1も生息地を失うことになる」

「健全な土地管理や農業に適さない土地での森林伐採の防止に対する市場圧力の拡大が、保全戦略にとって重要な要素である」

Nature vol.440, 520-523 (23 March 2006)



持続可能な原材料調達のヒント

- 課題認識、リスク・アセスメント
原料生産において、起こりがちな問題点を整理。主要原料についてのリスク評価
- ステークホルダーとの対話：外部者の視点
供給側、生産地の住民、NGO等
- 最低ラインの設定、目標ラインの設定
例：違法漁獲魚種の排除、認証製品の増加など
- コンサルテーションと公開
- 実施とモニタリング

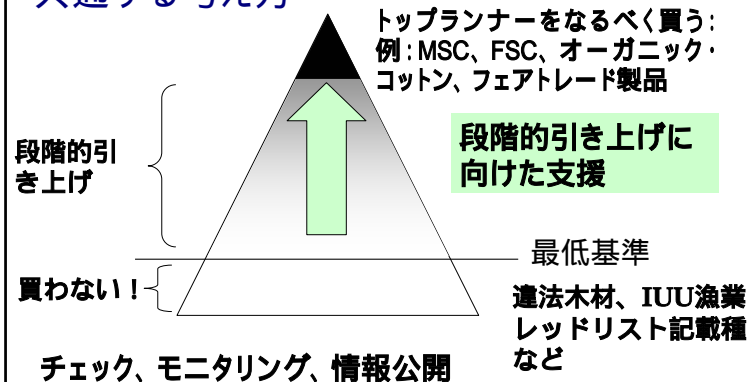
持続可能な原材料調達の手法

- 自社独自の調達方針の策定
- 第三者機関・NGOによる調査・監査
- 認証システムの活用
- グッド・プラクティス、パイロット事業
- 生産者支援
- マーケット全体での合意形成
例：持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO)、
持続可能な大豆生産に関する円卓会議 (RTRS)

原材料の持続可能な調達



共通する考え方





企業の事例

AEON イオン

- 農産物の詳細なトレーサビリティ: 農産物データ管理システム
- トップバリュ グリーンアイ 5つの基準
農薬等の抑制、適地・適期など、生態系の保全など
- フェアトレード
コーヒー、Tシャツ、シアバター



AEON イオン

サプライヤーCoC(取引行動規範)

生産、製造にあたっての法律遵守や環境社会配慮
 児童労働、強制労働、安全衛生及び教育、結社の自由及び団体交渉の権利、差別、懲罰、労働時間、労働時間、賃金および福利厚生、経営責任、環境、商取引、認証・監査・モニタリング、贈答禁止

- 遵守宣言書
- 二社監査または三社監査を年1回



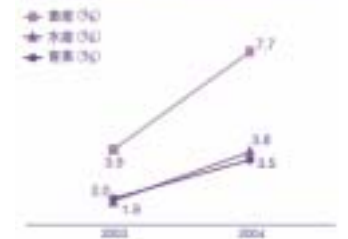
SEIYU 西友

- 地場・有機野菜
- トレーサビリティ



「食の幸」

「食の幸」高カテゴリーにおける売上シェア



- サプライヤー・アグリーメントに環境・社会面
- プライベート・ブランド、直輸入商品の監査



大地を守る会



- 農産物、畜産物、水産物、加工食品などの宅配：有機野菜、無農薬など
- 生産者と消費者のネットワーク
- アジアとの農民やNPOとの連携も
- 市民運動と事業活動



大地を守る会



加工食品取り扱い基準

- 有機栽培の推奨
- 農薬：禁止、制限事項あり
- 第三者認証
- 国内原料の優先



大地を守る会



加工食品取り扱い基準

- 輸入の場合
 - 第三者認証機関によって認証を受けた「有機農産物」、もしくはトレーサビリティの確保。
 - 現地生産者の社会的・経済的自立を妨げない生産 - 流通システムであること



大地を守る会



■ 水産物の基準

- 沿岸、沖合の水産物を優先
- 遠洋漁業については、水産資源の持続性に配慮（IUU漁業からの混入の排除）
- 環境保全型の養殖など



モスフードサービス



野菜

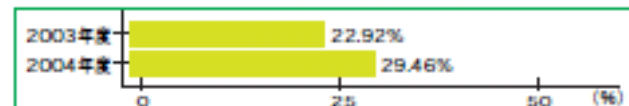
- 国産農産物の使用
- 特別栽培農産物に準じた栽培管理
- スタッフによる現地確認：生産者、肥料・農薬など
- 2,000軒の協力農家
- 環境保全農業の推進
- 産地情報の一元管理
- スタッフ農業体験



ワタミグループ



- 有機農業の推進 安全、安心な食材の提供
- 有機栽培及び特別栽培農産物の仕入れ比率



- スタッフ農業研修、体験農業など



ユニリーバ

- 世界最大級の消費財メーカー。食品、石鹸、化粧品、日用品など。
- 150カ国に展開



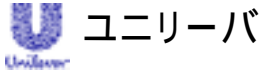
ユニリーバ

大規模プランテーションへのNGOからの指摘

- 熱帯林の破壊、生態系の破壊
- 大量に使用される農薬(生態、労働者)
- 土壌の疲弊、土壌浸食
- 土地の権利
- 伝統的、小規模な農林業、地元経済の変化、大規模資本への依存
- 労働と人権

ユニリーバへの批判「グローバリズムの先鞭者」

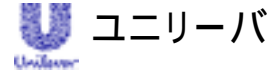
- 最大の農薬使用企業の一つ
- 伝統的な農業、地元経済の破壊者



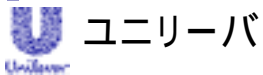
持続可能な農業イニシアチブ

ユニリーバ自身の問題認識

- 農地の4割は土壌劣化の問題を抱える。
- 世界の淡水資源の7割が農業に使用されている
- 原材料3分の2が農産物からのもの

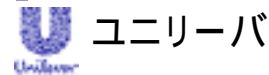


- 1990年代から各国で生産者などへの問いかけ
「持続可能な農業を築くためには何が必要か？」
- 5つの主要原料についてリード・プログラム
パーム油、茶、豆、ホウレンソウ、トマト
菜種油、サフラワー、大豆油、オリーブ油なども
実践を通じたガイドラインづくり



持続可能な農業の原則

- 投入資源の抑制
- 農業活動により生じる、土地の肥沃度、水質、大気質及び生物多様性への負の影響の最小化
- 再生可能資源の利用の最適化、再生不可能な資源の利用は最小化
- 地元コミュニティ



持続可能な農業の指標

1. 土壌の肥沃度および健全性
2. 土壌の消失
3. 栄養分
4. 農薬管理
5. 生物多様性
6. 生産物の価値
7. エネルギー
8. 水
9. 社会的、人的資本
10. 地域経済



ユニリーバ

- 生産者・サプライヤーと協働した「リード・プログラム」を実施

例) 「薪炭材」プログラム(ケニア)
「統合的農薬管理」(インド)



ユニリーバ

「持続可能なアブラヤシ農業のためのグッド・プラクティス(GAP)」(2002年9月)

- 特に労働条件に関する法律を遵守する。
- 原生林の転換はしない。
- 新規プランテーションに際して、環境影響評価(EIA)を実施し、その結果を遵守する。
- 統合的な農薬管理により、農薬の使用は最小化し、労働者の教育と防護を行う。
- 生産者との契約は公平で、支払いと供給は時間どおりに、合意された価格で行われる。

など



ユニリーバ

「持続可能な農業イニシアチブ」の実施体制

- 持続可能な農業アドバイザー・ボード:
外部からのアドバイス・判断を提供する。
- 持続可能な農業促進グループ(SASG):
持続可能な農業イニシアチブを運用する責任を持ち、ユニリーバのスタッフから構成される。
- 4つの協議グループ
重要作物ごと。世界市場とサプライチェーンの評価など



ユニリーバ

魚

(市場を変える)

- 市場全体を持続可能な方向に引っ張る
- MSC(海洋管理協議会)の立ち上げ(認証制度)

(自社を変える)

- サプライヤーへの働きかけ、評価
- 評価ツールの考案 自分自身で、それぞれの漁業を評価
- 「Traffic light」システム(1998年から)
- 「管理されていない」(=赤信号)と評価したものは買わない



スウィフト(タイ)

- 事業内容:有機野菜の買い付け、輸出
- 従業員数:約300人
- 契約農家数:約600戸
- 創業年:1986年
- 本社立地場所:バンコク郊外
イオン、M&S社、カルフルなどのサ
プライヤーとなっている。



スウィフト

- 欧米・日のマーケットの要求:品質、
安全性、環境、社会配慮 年々厳しく。
- タイの農家のおかれている現状
貧しく、ばらばらであり、仲買人に
買い叩かれてしまう。品質も悪い。子
供が学校に通えない。家の手伝いで
農薬をあびる危険性



スウィフト

- 農家のグループ化 作物ごとの委員会
- 農民グループと契約 ~ 作付け前から買
い取り価格を保証
- 高品質、安全、環境・社会配慮という付
加価値
経済支援:無利子融資
技術支援:農学者のスタッフが各グルー
プを指導



スウィフト



- 農民の所得、技術向上 離散家
族も一つの場所に。子供が学校に。
- 農産物の国際競争力が向上 海
外の厳しい小売業の基準もクリア
- 歩留まりがよいため、中国農産物
にも対抗可能 ビジネスとしても
成功




ご清聴ありがとうございました。

ご意見をお寄せ下さい。

E-mail: kanna.mitsuta@nifty.com



 ユニリーバ

魚



調査、割り当てシステム、規制・調整手段、コントロールシステム、長期的な管理計画